

小野市の祭り



浄土寺 浄土堂 (国宝)



阿弥陀三尊立像 (国宝)

くわたにじんじゃ まとしんじ 鍬溪神社 的 神事



悪疫※1を払い、安泰※2をお祈りする神事※3が、鍬溪神社で行われます。1月2日の「地起しの儀※4」に始まり、1月7日に神社での「鬼」の字を書き、それを黒く塗りつぶし、7人の射手※5が矢を射り、見事に的中すれば、良いとされています。

- ※1 悪疫:悪い病気が広まること
- ※2 安泰:無事で安らかなこと
- ※3 神事:神様に関するまつりごと
- ※4 地起しの儀:田んぼの土地を掘り返すこと
- ※5 射手:弓で矢を射る人のこと

いつ：1月2日～1月7日
第2土・日曜日
どこで：小野市下来住町661



じゃくいちじんじゃ にしわき ししまい
若一神社 西脇獅子舞



おのし むけいみんぞくぶんかざい してい にしわきしし
小野市の無形民俗文化財に指定される「西脇獅子
まい えど じだい むら ひろ えきびよう はらため おさ
舞」は、江戸時代に村で広まった疫病※1を払う為に納め
はじ った
られたのが始まりと伝えられています。

あきまつ ごこく ほうじょう ねが しゆるい ししまい
秋祭りでは、五穀豊穰※2を願って13種類の獅子舞が
おこな たにわた まい やまがた く はしご どう
行われます。「谷渡りの舞」は山形に組まれた梯子で2頭
ししま
の獅子舞が舞います。

- ※1 疫病:悪い病気のこと
- ※2 五穀豊穰:農作物が豊かに実ること

いつ : 10月 第2日曜日
どこで : 小野市阿形町121



すみよしじんじゃ たるいちょう れいたいざい
住吉神社(垂井町) 例大祭



かくまち こ みこし きだ みやい しんぜん
各町から子ども神輿10基を出して宮入りをし、神前に
まち あんぜん ほんえい いの いちば ほうくえん
て町の安全と繁栄を祈ります。そのあと、市場保育園の
こ たいこ ほうのうえんそう おこな
子どもたちによる太鼓の奉納演奏※1が行われます。

かんれきしゃ やくよけ きとう やくよけ ぎょうじ
それから、還暦者※2の厄除祈禱※3と、厄除行事であ
もち
る餅まきがあります。

- ※1 奉納演奏:神様を楽しませるため演奏すること
- ※2 還暦者:年齢が60歳の人
- ※3 厄除祈禱:災難を防ぎ取り払うために祈ること

いつ : 10月 第2日曜日
どこで : 小野市垂井町908



かきた じんじゃ れいたいさい
垣田神社 例大祭



まつ とうじつ じんじゃ ちょうない ひと けんこう あんぜん いの
祭り当日は神社で町内の人の健康や安全をお祈りする
しんじ ぐうじ せんとう うじこ たち てんぐ
神事のあと、宮司※1を先頭に、氏子※2達が「天狗の
めん やり なぎなた ほこ しょう も こ みこし とも
面※3、槍、長刀、鉾、笙」などを持ち、子ども神輿などと共
かわきた わかみやじんじゃ い かきた じんじゃ
に川北の若宮神社まで行きます。そのあと、垣田神社ま
もど げいのうはっぴょう もち ふくびき おこな
で戻り、芸能発表※4、餅まき、福引などが行われます。

- ※1 宮司:神社に仕え、いろいろな祭り事をする人のこと
- ※2 氏子:その地域の住人で、その土地の神様をおまつりする人
- ※3 天狗の面:写真参照
- ※4 芸能発表:歌や踊りなどの発表

いつ : 10月 第2日曜日
どこで : 小野市小田町1649



すみよしじんじゃ くほきちょう あきまつ
住吉神社(久保木町) 秋祭り



にちめ ごご じごろ しんじ みこし さんじょう はちまん
1日目、午後5時頃から神事のあと、神輿は山上の八幡
じんじゃ ひとばんす しし よどお うじこ いえ
神社で一晩過ごします。そして獅子は夜通し氏子※1の家
もん い さいご いえ よくじつ あさ じごろ
へ「門つけ※2」に行きます。最後の家には翌日の朝6時頃
になるそうです。

ふつかめ みこし じんじゃ かえ やたいじゅんこう たいこ ひろう
2日目には神輿は神社へ帰り、屋台巡行※3、太鼓披露、
ふくびき
福引などがあります。

- ※1 氏子:その地域の住人で、その土地の神様をおまつりする人
- ※2 門つけ:人家の門口で獅子を舞う
- ※3 屋台巡行:神輿などが練り歩くこと

いつ : 10月 最終土・日曜日
どこで : 小野市久保木町978

